



人の想いを乗せて走る 徳島バス



徳島バス株式会社
会 社 案 内



【Our mission】 私たちの使命

お客さまとともに

時代の移り変わりに寄り添いながら、

徳島の人と、まちの営みの風景に溶けこんで八十余年。

晴れの日も、雨の日も、お客さまを安全に目的地までお連れする日々を重ね、

私たちが辿り着いた、いつの時代も変わらない真理。

それは「お客さまの数と同じだけ、その行き先に未来が続いている」ということ。

～人の想いを乗せて走る、徳島バス～

私たちは、今日もひたむきに、お客さまの未来へ向けて走り続けます。



徳島バスは、貸切バス事業者安全性評価認定制度
最高位の三ツ星『★★★』認定事業者です。

【貸切バス事業者安全性評価認定制度とは】

貸切バス事業者の安全性に対する取り組み状況、事故や行政処分の状況等を評価し、
認定・公表することで、安全性を「見える」ものとし、お客様がより安全性の高い貸切バス
事業者をお選びいただく際の指標となる制度です。





笑顔に乗せてどこまでも 安全運転のスペシャリスト

採用について

◆契約運転者

大型二種免許をお持ちの方が対象です。社内研修終了後、契約運転者として乗務し、原則半年～1年で正社員に登用されることとなります。

◆養成運転者

大型二種免許をお持ちでない方が対象です。当社が免許の取得費用を貸し付け(条件あり)、入社後は当社と提携している教習所に通っていただきます。実技試験合格後は、契約運転者として乗務し、正社員登用を目指します。また、新規卒卒者に関しても新卒養成運転者として採用しています。



運転者研修制度〈入社後実施〉

就業規則や運送約款など、会社のルールについて学び安全運行に関する知識や車両の点検方法を習得します。その後、パイロンを用いた運転基礎練習を経て、指導運転者による路上研修を受講して修了試験に合格すると営業所に配属され、運転者として実際にお客さまを乗せて走ることになります。この間、すべてにおいて専門のスタッフによるサポート体制が整っていますので安心です。

再雇用制度

65歳の定年退職を迎えても、働き続けることができる制度です。ほとんどの方が再雇用制度を利用し活躍されています。シニア世代として、自分に見合った人生設計を考えることが可能です。



路線バス運転者

徳島駅や各営業所を起点とし、徳島県内の各市町村を運行しています。幅広い年代の方がご乗車され、通勤・通学、通院等の生活路線として地域住民に必要不可欠なものとなっています。クリーム色の車体に県の木である「やまもも色」と「藍色」のラインが入り、徳島バスの「T」をなぞっています。



貸切バス運転者・ガイド

観光ツアーや学校行事等、県内県外を問わず、さまざまな観光地・名所へ向けて運行しています。白色の車体に徳島の名物である「渦潮」が描かれています。



高速バス運転者

徳島県から京阪神を中心に、中四国・東京など県外に向けて運行しています。通称名はEDDY(＝渦)号です。山々の連なりを表す緑と渦潮の青…そして、縁起の良い千鳥が描かれています。こちらの千鳥は当社キャラクター「えでい」のモチーフにもなっています。



バス運転者の一日

1. 始業点呼



出勤後、運行管理者より体調の確認や道路状況等の連絡を受けます。

2. 車両点検



エンジンルームに異常がないか、タイヤのボルトが緩んでないか等、運行前に必ず車両の点検を実施します。

3. 運行



さあ、いよいよ出発です。今日も安全運転に努めましょう。

4. 終業点呼



車内を点検し、営業所にて終業の報告・点呼を行います。おつかれさまでした。



バスの安全運行をサポート 地域交通の発展をめざして

企画管理部

- ◆安全推進課
安全推進への教育および事故防止に関する活動等
- ◆企画課
路線バス・高速バスの運行に関する申請、ダイヤ(運行図・時刻表)の作成等
- ◆技術課
車両の整備・保守管理、車両および機器取扱いの技術的教育等

観光部

貸切バスの契約・手配、貸切バス料金の設定、旅客の誘致および宣伝等

運輸部

営業所の指導・管理、バス運行に関わる全般業務、営業関連商品の企画・販売等

- ◆営業所
運行管理に関すること、事故防止および処置、チケット販売業務等
- 7カ所：徳島・鳴門・鴨島・橘・万代・小松島・北島



総務部

- ◆総務
人事、労務管理に関する登記関係、株式の管理等
- ◆経理
決算、予算業務、資材・用品の購入等

運行管理とは

運行の安全を確保するための業務のことです。営業所が主体となり"365日"行っています。
(例)「運転者の乗務割の作成」「休憩・睡眠施設の保守管理」「運転者の指導監督」「運転者の健康状態等の把握や安全運行の指示」等。



事務員 総合職の一日

1. 出勤



朝礼から始まります。声に出すことで「安全・安心・快適な輸送」に関して再確認。

2. 電話応対



お客さまからの時刻表に関するお問い合わせについて、丁寧に答えします。

3. 打ち合わせ



新しい路線に関して関係各部署と連絡を取り、何度も打ち合わせを重ねます。

4. 時刻表の作成



時刻表について、誤りがないか入念にチェック中です。



快適な車内空間を作り出す お客さまに寄り添うメンテナンス



整備工場〈5拠点〉

主に北島工場で高速バス・貸切バスの整備をしており、徳島工場ほか3拠点で路線バスの整備をしています。

【北島工場・徳島工場・鳴門工場・鴨島工場・橘工場】



自社整備体制

自社で整備体制を完備し、車両の安全運行を目指しています。一人ひとりがしっかりと知識や技術の向上に努め、車両整備に取り組んでいます。

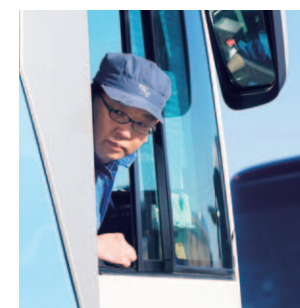
整備項目

ステアリング装置、ブレーキ装置、走行装置、サスペンション、動力伝達装置、電気装置、エンジン、ばい煙・悪臭のあるガス・有毒なガス等の発散防止装置、附属装置、高圧ガスを燃料とする燃料装置等



安全対策

工場内での安全対策のひとつとして“声かけ運動”を実施しています。整備中、エンジンをかける際は、必ず後方を確認しクラクションを鳴らすようにしています。また、危険を予知できるよう、作業実施前には必ず入念に作業工程の確認をします。



資格について

技術員としてより活躍するためには、“2級以上の自動車整備士”資格が必要となります。入社後、資格取得を目指すこともできるので、これまでに大型車の整備経験がないという方もご安心ください。また、資格取得後も、先輩技術員が丁寧にサポートするので安心です。

技術員の日

1. 出勤



作業工程を確認します。

2. 点検作業



エンジンルームに異常が無いか確認します。作業はペアで行います。

3. 設備点検



シーズンに合わせた点検作業を行います。(夏季前:冷房設備、冬季前:暖房設備、スタッドレスタイヤの装着、貸切バスシーズン:車内設備、カラオケ設備等)

4. 整備記録簿の作成



点検後、車両の状態を記録簿に転記します。

[Social Contribution] 社会貢献



日々、お客さまとともに 安全・安心・快適な輸送をめざして

安全に運行するために ～運転者の状況やそれぞれの時期に応じた研修を実施しています～

- ◆運転者研修〈実施例〉 訓練専用車による研修…アイマークレコーダーや燃料消費計を用いた運転研修
事故防止研修会…事故の再発防止研修(対象者：事故惹起者)
安全運転講習会…事故の未然防止研修(対象者：運転者、運行管理者)

地域に愛されるバス会社 ～バス事業を広めるためにさまざまな活動をしています～

◆おえかきバス



「バスに少しでも興味を持ってもらいたい」という一心のもと、バスの車体に様々な絵や模様を描いていただく取り組みを行っています。数多くのお子さまやその家族の方々にご参加いただいています。

◆バスのバリアフリー教室



実際に使用しているバスを学校へ乗り入れ、バスのバリアフリー教室を開催しています。ノンステップバスを用いてバスのバリアフリーに関する内容をお伝えするだけでなく、バスの乗り方や交通安全に関する内容もお伝えしています。

◎実施内容／「車いすでのバス乗車体験」「バスの内輪差」
「バスのバリアフリー・乗り方×クイズ」など

会社目標

1. 旅客輸送と関連する事業によって地域社会に貢献します。
2. 「お客さま第一」をモットーに最良のサービスを提供します。
3. 仕事を通じて一人ひとりの生活の充実と向上をはかります。

営業拠点

本社	〒770-0823	徳島市出来島本町1-25
徳島駅前案内所	〒771-0832	徳島市寺島本町東3-8
高速バス予約センター	〒770-0823	徳島市出来島本町1-25
観光部	〒771-0206	板野郡北島町高房字百堤外25-1
徳島営業所	〒770-0823	徳島市出来島本町1-25
鳴門営業所	〒772-0032	鳴門市大津町吉永字三石野756-3
鴨島営業所	〒776-0020	吉野川市鴨島町西麻植字麻植市40-7
橘営業所	〒774-0023	阿南市橘町幸野85
万代営業所	〒770-0941	徳島市万代町7-1-1
小松島営業所	〒773-0001	小松島市小松島町字新港9-1
北島営業所	〒771-0206	板野郡北島町高房字百堤外25-1



会社概要

社名	徳島バス株式会社
設立	昭和17年2月4日
事業内容	一般乗合旅客自動車運送事業(路線バス・高速バス) 一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)
代表者	代表取締役社長 金原 克也
従業員数	359名
車両数	239台
営業キロ程	1678.9 km

沿革

昭和17年	2月4日	徳島バス統合(株)設立
	3月7日	徳島統合バス株式に社名変更
22年	9月5日	徳島バス株式に社名変更
27年	4月1日	陸海4社と提携、徳島～淡路島～明石および徳島～洲本～神戸～大阪の連絡運輸を開始
36年	3月25日	南海電鉄の関連会社となる
40年	4月1日	高德特急バス(徳島～高松)の運行を開始
60年	6月9日	淡路特急バス(徳島～津名)の運行を開始
平成元年	7月14日	徳島～東京線の運行を開始
	8月3日	徳島～大阪線の運行(4往復)を開始
10年	4月6日	徳島～阪神線の運行(6社共同)を開始
11年	3月1日	徳島～京都線の運行(4社共同)を開始
12年	3月1日	徳島～関西空港線の運行(4社共同)を開始
	3月12日	徳島～松山の運行(3社共同)を開始
13年	3月30日	徳島～高松の運行(3社共同)を開始
	3月31日	大阪線 一部USJまで延長
	〃	貞光営業所廃止と代替路線を四国交通へ移管及び不採算路線の廃止
	10月27日	阿南～大阪線(4往復)の運行を開始
14年	3月30日	徳島～高知線(4社共同)の運行を開始
	12月21日	徳島～広島線の運行を開始
15年	4月25日	徳島～岡山線の運行を開始
17年	12月22日	阿南～大阪線の路線を東洋町(高知県)まで延長
21年	4月1日	南海電鉄の出資状況が146,639株(50.85%)となる
	10月1日	南海電鉄の出資状況が147,249株(51.06%)となる
23年	4月1日	鳴門市営バスより運行受託(鳴門公園線)
	10月1日	徳島市営バスより運行受託(川内循環線)
24年	10月1日	徳島市営バスより運行受託(天の原、一宮、17号線)
25年	4月1日	鳴門市営バスより運行受託(引田、北泊、大麻線)
	10月1日	徳島市営バスより運行受託(不動、大神子線)
26年	9月23日	鳴門営業所の移転(撫養町より大津町へ移転)
	10月1日	徳島市営バスより運行受託(淡野、五滝線)
27年	4月1日	徳島市営バスより運行受託(中央循環線、南部循環線、山城線)
	〃	小松島市営バスより運行受託(立江線、田浦線、和田島線)
28年	4月1日	徳島市営バスより運行受託(島田石橋・市原線)
29年	4月1日	バスロケーションシステム「とくまバスNavii まどっなん」運用開始
	6月1日	高速バス(EDDY号)Free Wi-Fi導入
30年	4月1日	徳島市営バスより運行受託(法花線)
令和3年	4月1日	徳島市営バスより運行受託(中央市場、新浜、万代車庫線)
	12月1日	燃料電池バス運行開始
令和5年	4月1日	徳島市営バスより運行受託(津田、上鮎喰線)現在に至る



徳島バス株式会社
イメージキャラクター「えでい」

徳島バス株式会社 TOKUSHIMA BUS Co.,Ltd.

徳島県徳島市出来島本町一丁目25番地

TEL.088-622-1811(代)

採用に関するお問い合わせは…

総務部 TEL.088-622-1814